工芸・アート

通年



九谷焼の「土」から「絵付け」までを体感 金沢の老舗窯元でその真髄に迫る JAPAN KUTANI TOURISM 参加費(消費税込)

10,000円 お1人様

参加費に含まれるもの:工房見学料、ろくろ体験料、体験作品 ※体験作品送料は別途

150年の歴史がある金沢唯一の窯元「九谷光仙窯」で成形から上絵付まで一貫した手仕事で生み出される九谷焼の歴史と製作工程を見学。 土の焼物とは違う磁器特有の奥深い味わいをろくろ水挽体験を通して肌で感じていただきます。ろくろ体験した作品は、お好きな絵付のデザインに職人が完成させて、後日ご自宅へお届けします。



九谷焼

江戸時代初期に、現在の加賀市にあった九谷村で作られるようになったのが始まりとされている。緑・黄・赤・紫・紺青の五彩を使った鮮やかな上絵付けが特徴。



^{九谷光仙窯5代目} 利岡光一郎_{さん}

明治三年創業の九谷光仙窯 の5代目。窯元の代表として ろくろや絵付けの職人を束 ねつつ、自らも作陶してい

る。近年ではVISVIMやアートアクアリウムの依頼を受け、新たな可能性に挑戦しつつも九谷焼が伝統工芸としてあるべき姿を堅持している。

九谷焼窯元「九谷光仙窯」

明治三年創業の窯元。ろくろによる成形から上絵付まで一貫した手仕事で九谷焼を製作する工房。現存する一番古い部分は大正時代の造り。ろくろ場や本窯をはじめ、実際に日々職人が作陶している様子など、通常見ることができない工房の内部を九谷焼の歴史を交えながらご案内します。











